

大隅地域感染症情報 2018

第36週報（9月3日～9月9日）
大隅地域振興局保健福祉環境部

○定点医療機関からの定点当たり報告数

・RSウイルス感染症について、鹿屋保健所、志布志保健所ともに先週より増加しています。
この疾患は乳幼児にとっては感染しやすく、かつ重症化しやすい感染症です。家庭や保育施設等では、飛沫感染・接触感染予防対策を心がけて下さい。子どもたちが触れるおもちゃ、手すりなどはこまめに消毒し、流水・石けんによる手洗いを励行しましょう。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			33週	34週	35週	36週	33週	34週	35週	36週	36週	35週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.40	0.15	0.05
RSウイルス感染症	-	-	2.80	1.20	2.40	4.00	1.67	1.00	3.00	4.67	4.25	4.31
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	0.40	1.40	2.20	0.00	1.33	0.67	0.00	1.38	0.81
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.60	0.60	1.20	1.80	2.33	1.33	0.67	0.33	1.25	1.48
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	11.40	10.20	10.20	8.60	8.33	5.67	8.33	4.33	7.00	6.81
水痘	2.00/1.00	1.00	0.40	0.00	0.00	0.40	1.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.19
手足口病	5.00/2.00	-	0.80	1.00	0.60	0.60	1.33	0.33	1.67	0.00	0.38	0.94
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
突発性発疹	-	-	0.60	0.00	0.00	1.00	0.67	0.67	1.00	0.67	0.88	0.74
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.60	0.60	0.40	0.60	0.33	0.00	0.33	0.33	0.50	0.81
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.40	0.40	0.40	0.00	0.67	0.00	0.67	0.67	0.25	0.43
急性出血性結膜熱	1.00/0.1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.43
流行性角膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-

■ 警報基準値以上 ■ 注意報基準値以上

(注) 水痘の基準値が36週から変更になっています。

【変更前】 警報開始：7、警報終息：4、注意報：4

【変更後】 警報開始：2、警報終息：1、注意報：1

○感染性胃腸炎について

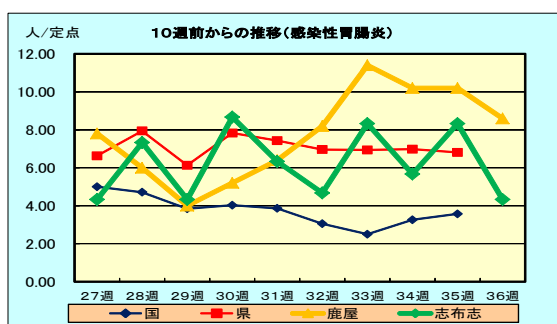
【警報開始基準値 20.0、警報終息基準値 12.0】

(感染性胃腸炎一図1) ※第36週は鹿屋・志布志のみ掲載

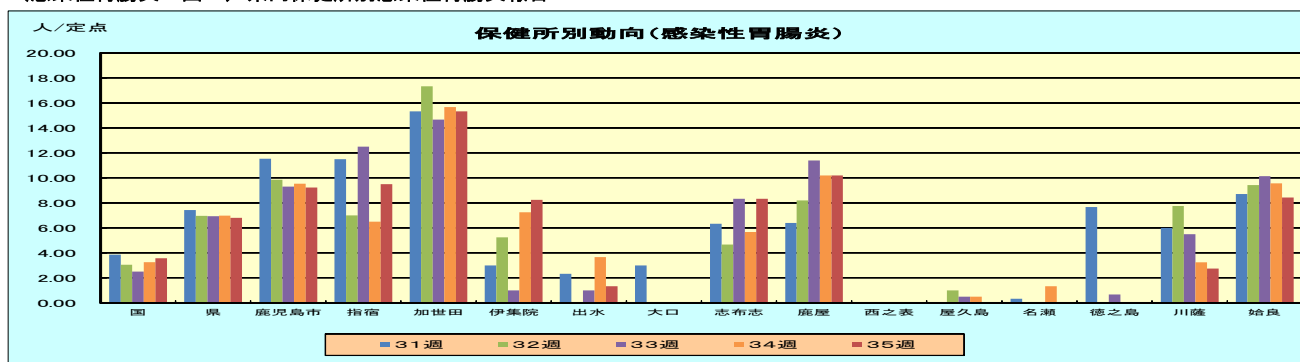
感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは43名(定点当たり報告数8.60)
の報告がありました。

志布志保健所管内からは13名(定点当たり報告数
4.33)の報告がありました。

年齢別では、10～14歳以上が最多でした。



(感染性胃腸炎一図2) 県内保健所別感染性胃腸炎報告



○RS ウイルス感染症について

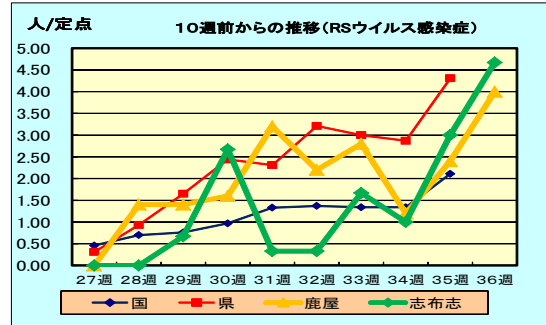
RSウイルス感染症の発生状況は、

鹿屋保健所管内からは20名（定点当たり報告数4.00）の報告がありました。

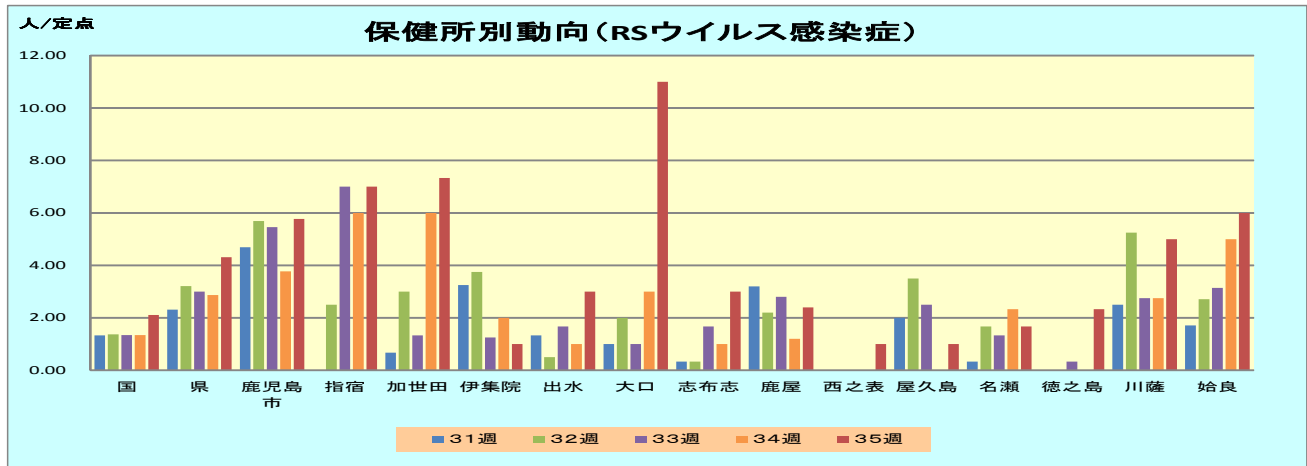
志布志保健所管内からは14名（定点当たり報告数4.67）の報告がありました。

年齢別では、全例2歳以下でした。

（RS ウイルス感染症一図1）※第36週は鹿屋・志布志のみ掲載



（RS ウイルス感染症一図2）県内保健所別手足口病報告



「結核予防週間」について

国では、9月24日（月）から30日（日）までの一週間を「結核予防週間」と定め、結核に対する正しい知識の啓発に努めています。

【結核とは】

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。初期の症状は風邪とよく似ていますが、咳や痰が出る、微熱があるなどの症状が2週間以上続く場合は、結核を疑って早めに医療機関を受診しましょう。

【発生状況】

「結核は過去の病気」と思われがちですが、全国では、年間約17,000人、県でも年間約240人の新規患者が発生しています。

【感染経路】

咳やくしゃみなどの空気感染によりうつります。

結核菌の混ざったしぶきが、咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで感染するのです。

【治療について】

結核と診断されても、6～9ヶ月毎日きちんと薬を飲めば治ります。

しかし症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまうと完全に治りません。さらに、菌が抵抗力をつけ薬が効かない耐性菌になることがあります。

